

発刊に寄せて

学長 河崎 利夫

平成17年4月に、四條畷学園大学リハビリテーション学部がスタートしました。待望の四年制大学の設置が実現しましたので、今年、四條畷学園にとって、大変意義深い年となりました。

四條畷学園大学リハビリテーション学部は、従前の四條畷学園短期大学リハビリテーション学科（三年制）を基礎として設置されたものです。文部科学省への四年制大学の設置申請は、かなり大変で、申請担当の方々のご尽力と大勢の方々のご支援のおかげで認可が得られたものと感謝しています。しかし、本学園短期大学でのリハビリテーション学科としての4年間の教育・研究の実績が、何にも増して、大学の設置申請に際し、その認可に大きく貢献したと考えています。

その四條畷学園短期大学リハビリテーション学科は、平成13年4月に開設されました。当時の四條畷学園短期大学は、幼児教育・教養・国際コミュニケーションの3学科構成でした。この内容でも分かるように、本学園短期大学は、開学当初から、女子を中心とした文系の短期大学として歩んできました。その短期大学に医学系のリハビリテーション学科の設置を計画したものですから、このときの設置申請は、本当に大変な問題の連続でした。

当時、リハビリテーション分野の養成校は、国公立大学の医療技術短期大学部と専修学校が主体でした。全国の私立短期大学でリハビリテーション学科を持っていたのは2校だけで、その2校も医学系の大学に設置されたものでした。そのような状況の中で、本学園短期大学がリハビリテーション学科の設置を考えたのですから、今から思えば無謀とも言える計画だったと思います。設置申請とその準備期間を通じて、中橋理事長と一緒に試行錯誤の繰り返しを続け、時には、計画の大幅な変更を考えた時期もあったことを思い出します。その本学園短期大学のリハビリテーション学科が、今年度から、四條畷学園大学リハビリテーション学部として、新しい一歩を踏み出すことになりました。感慨無量の思いです。

四條畷学園短期大学リハビリテーション学科の紀要は、第2号まで刊行されていますが、本学部が新しく四年制大学とした開学いたしましたので、紀要も「四條畷学園大学リハビリテーション学部紀要」として創刊号を発行することになりました。

この紀要の創刊を契機に、本学の教育・研究がますます飛躍・発展することを願っています。

平成17年12月